

成瀬無極

なるとせ

ドイツ文學者、文學博士。明治十七年一月一日東京

生れ、昭和二十二年一月四日歿（八八四—一九六）。本名清。別號夢曲、

大極、無極生。書家成瀬大域の長男。明治四十年東京帝國大學文科大

學獨文科卒。慶應義塾豫科教授、第二高等學校教授を経て、大正十年

ドイツ留學。昭和五年京都帝大教授、翌年日本ゲーテ協會創設（のち

會長）。小説、戯曲の筆を執り、また隨筆を能くした。

譯著書、イブセン作『小キキヤイヨルソ』（譯、大正二年五月十八日

南江堂書店）、『極光』（大正二年七月十五日春陽堂）『現代文藝叢

書』）、『獨逸研究』（本名、合著・教育學術研究會編、大正四年十

一月二十四日同文館雜誌部）、『文學の笑の研究』（大正六年一月

五日東京實文館。再刊・昭和十四年十一月五日高山房「高山房白科文

庫』）、『東山の麓より』（大正七年十一月十八日大鏡閣）、『東山

夜話』（大正十年九月十日内外出版株式會社）、『最近の獨逸研究』

（合著・表現社編、大正十二年一月十八日松堂書店）、『Neue Ge-

denken über Goethe』全一冊（小牧健夫共編、Band I・大正十四年二月

十五日、Band II・八月十五日岩波書店）、『ハウプトマン

人々他八篇』（本名、共譯、昭和二年十二月十二日新潮社「世界文學

全集』）、『疾風怒濤 時代と現代獨逸文學』（昭和四年十一月十八日改造

社）、『ラヂオドラマ集（B.D.懸賞作品）』（選後餘感、合著・大阪

中央放送局編、昭和六年四月二十五日大阪・大阪實文館、併文館發）



トオマス・マン作『ブッデンブルーク一家』（譯

全一冊、1・昭和七年二月二十九日、2・和田顯

太郎共譯・八月十五日新潮社「世界文學全集」。

再刊一全四册、一・昭和十一年二月十五日、二・二十日、三・四月十日、四・五月十五日岩波書店「岩波文庫」、
『文藝百話』(昭和九年一月十六日第一書房)、
『評議集』(人間激視) (昭和九年六月二十
五日京都・政経書院)、
『近代獨逸文學思潮』(昭和九年九月五日表
現社)、
『無極隨筆』(昭和九年十一月十一日白水社)、
ハウポトマ
ン作『寂しき人々・鐵匠』(譯、昭和十一年二月二日新潮社「新潮文
庫」)、
『南船北馬』(昭和十二年五月二日白水社)、
『新體制國民
講座・第七八輯文學篇』(木谷、合著、昭和十六年十一月十一日大阪・
朝日新聞社)、
『無極創作選集』(昭和十八年八月二十五日大阪・
駿々堂「駿々選書」)、
フランツ・ウエルフェ作『殺された者ゝ罪
がある』(内題「殺した者殺された者ゝ罪がある」譯、昭和二十一年
十一月一日京都・世界文學社「世界文學叢書」)、
『懺悔とこの文
學』(昭和二十一年二月十五日京都・矢代書店)、
『文藝の現はれた
人間の姿』(昭和二十二年十一月十日岩波書店「教養叢書」)、
『無極
集』(昭和二十四年十一月二日成瀬先生記念刊行會、法律文化社)等。